

認証評価結果に対する改善報告書

平成 29 年 7 月 11 日

1. 大学名：大手前大学

2. 認証評価実施年度：平成 27 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受入れ

○現代社会学部現代社会学科(通信教育課程)の収容定員充足率が 0.7 倍未満であるため、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

【平成 27 年度】

次年度学生数の定員の充足に向けて下記の内容を実施した。

- ① スクーリングの代わりとなるメディア授業を今年度より、これまでの 10 科目から 17 科目 30 単位に増やし、初めてインターネットの学習のみで卒業できるようにした。
- ② 増加傾向のある近畿圏以外の入学者を確保すべく、スクーリング会場を従来の本学・東京・岡山会場に加え、今年度より札幌・名古屋・福岡会場を追加し、全 6 会場に拡大した。
- ③ 今年度、心理学関連科目に 2 科目の増設を行い 27 科目 53 単位の内容に充実させた。また、認定心理士の資格取得のためのスクーリングを従来の 15 日間から 6 日間に大幅に短縮させ、より学びやすい環境を整備した。
- ④ 今年度より、日本語教員に関する科目を新たに 5 科目追加し、「日本語教員養成課程」を開設した。現在、外国人に日本語を教えることができる人材へのニーズが高まっており、更なる入学者の増加を見込んでいる。
- ⑤ 阪神間の歴史や文化に直接触れることができるスクーリングとして、「歴史探訪」「観光開発」「文学めぐり」「スイーツ探訪」の 4 科目を新設した。大阪・神戸間の史跡・名所・施設・店舗などを実際に訪問しながら学習できる。

以上の取り組みの結果、在籍学生数は平成 28 年度 5 月 1 日時点で前年度 857 名から 1,237 名へ増加（対前年比 144.3%）し、定員充足率は前年度 0.29 から 0.41 へと改善した。

【平成 28 年度】

次年度学生数の定員の充足に向けて下記の内容を実施した。

- ① 増加傾向の見込まれる近畿圏以外の入学者を確保すべく、スクーリング会場を今年度より仙台会場を新たに追加し、全 7 会場に拡大した。
- ② 昨年度開設した日本語教員養成課程のさらなる充実のため、今年度はさらに 6 科目を新規開講した。また、科目等履修生の年間履修上限単位数をそれまでの 20 単位から 30 単位に増やし、科目等履修生も 1 年以内での課程修了が可能となった。

- ③ “大学での学び方を学ぶ”ための若年者向けの授業科目「基礎ゼミナール」を今年度より開講した。若年者の入学者が増えるなか、充実した学びの環境を整えることで入学者の獲得に繋げていく。
- ④ 今年度より相互履修制度を導入し、通信学生も本学通学課程の科目履修が可能となった。以上の取り組みの結果、在籍学生数は平成 29 年度 5 月 1 日時点で前年度 1,237 名から 1,450 名へ増加（対前年比 117.2%）し、定員充足率は前年度 0.41 から 0.48 へと改善した。

【平成 29 年度】

次年度学生数の定員の充足に向けて下記の内容を実施している。

- ① 社会的に日本語教員の需要が高まる中、「日本語教員養成課程」において日本語教育能力検定試験に対応した科目や教案作成などの演習に対応した科目を 2 科目新設した。
- ② 大学で初めて学ぶ人や大学での学び方がわからない人を対象に「アカデミックスキル科目群」3 科目を新設した。履修計画の立て方やレポートの書き方、論理的思考法など、基礎をしっかりと身につけたうえで大学で学んでもらうための環境を整えた。
- ③ 前記「アカデミックスキル科目群」の一環として、入学前学習のためのデジタル教材「学びの基礎」を新設した。出願後に本格的な学習を開始するまでに「大学生としての心得」・「学生生活」・「情報検索スキル」・「電子メディアスキル」など、学ぶために必要なことをデジタル教材で学習でき、入学後の振り返り学習にも利用できるようにした。
- ④ スクーリングの代わりとなるメディア授業をこれまでの 17 科目 30 単位から 21 科目 34 単位の増やし、インターネットの学習のみで卒業できる環境をさらに整備した。

また来年度の学生募集に向けて、「日本語教員養成課程」関連科目を充実させ、若年層および 20～30 代女性入学者の新規獲得を目指し、公務員試験対策の科目群・情報クリエイティブ系科目群の新設を予定している。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- 2-1-01 大手前大学現代社会学部現代社会学科(通信教育課程)収容定員充足率推移表
- 2-1-02 平成 27 年度① メディア授業
- 2-1-03 平成 27 年度② スクーリング会場
- 2-1-04 平成 27 年度③ 心理学関連科目
- 2-1-05 平成 27 年度④ 日本語教員養成課程
- 2-1-06 平成 27 年度⑤ 阪神間スクーリング（大学案内 No.3）
- 2-1-07 平成 28 年度① スクーリング会場
- 2-1-08 平成 28 年度② 科目等履修生
- 2-1-09 平成 28 年度② 日本語教員養成課程
- 2-1-10 平成 28 年度③ 基礎ゼミナールチラシ
- 2-1-11 平成 28 年度④ 相互履修制度（大学案内 No.4）
- 2-1-12 平成 29 年度① 日本語教員養成課程
- 2-1-13 平成 29 年度②③ アカデミックスキルチラシ
- 2-1-14 平成 29 年度④ メディア授業